

環境総合研究所

視 察 資 料

[ 環 境 委 員 会 資 料 ]

資料1 川崎市環境総合研究所の開設について

別添 川崎市環境総合研究所（パンフレット）

平成25年5月22日

川 崎 市 環 境 局

# 川崎市環境総合研究所の開設について

## 1 環境総合研究所の概要

### (1) 目的

多様化・複雑化する環境問題に的確に対応していくためには、環境分野の広範な領域に関して、より総合的な調査・研究を充実させていく必要があることから、公害研究所、公害監視センター、環境技術情報センターの機能を再編・統合し、国連環境計画 (UNEP)、国立環境研究所や大学などの外部研究機関、優れた環境技術を有する市内企業等と連携しながら、環境に関する総合的な研究を行う拠点として環境総合研究所を開設

### (2) 所在地

殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」(川崎区殿町3丁目)  
川崎生命科学・環境研究センター  
3階 約2,400㎡

### (3) 業務開始時期

平成25年2月1日



図2

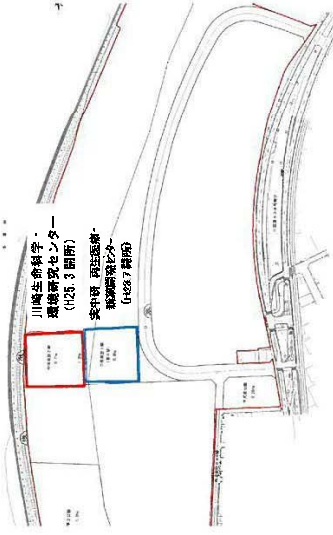


図1 殿町三丁目土地区画整理事業区域

## 2 環境総合研究所の機能

- さらなる環境改善と環境汚染の未然防止のための監視・調査・研究  
大気や水質の環境の監視・観測、分析、調査・研究など、環境改善と環境汚染の未然防止の取組や、化学物質の環境リスクに関する調査・研究など、予防的措置に向けた取組
- 優れた環境技術情報の収集・発信  
川崎の環境への取組や経験などの優れた環境技術情報を収集し、情報通信技術等を活用して広く国内外に発信
- 川崎の優れた環境技術による国際貢献の推進  
川崎の優れた環境技術や環境保全の経験を活かした国際貢献を推進するため、国連環境計画 (UNEP) をはじめとする国際機関等と連携した事業を推進

- 「都市と産業の共生」を目指した研究 (産学公民連携共同研究)  
持続可能なまちづくりに向け、企業、大学、研究機関及び市民の参画と相互の連携を図りながら、川崎のフィールドを活かした環境研究を推進
- 多様な主体と連携した環境教育・学習  
市民団体や企業などと連携しながら、環境問題を理解するための環境教育・学習プログラムを活用した環境教育・学習を実施

## 3 研究所運営における新たな仕組み

- 任期付研究員 (外部人材の活用)  
任期付研究員制度を新設し、多様化する環境問題に対し専門研究者の知見とネットワークを活用する研究体制を構築し、プロジェクト研究を実施
- アドバイザーボードの設置  
国際的な情報発信や外部機関との連携強化につなげるため、国内外にネットワークを有する環境分野の学識者等から提言、助言を得る仕組みとしてアドバイザーボードを創設

## 4 十分に環境配慮した先進技術による設計

### ■川崎市建築物環境配慮制度 (CASBEE川崎) Sランクの評価

- 再生可能エネルギーの導入  
○太陽光発電 ○太陽熱利用給湯 ○地中熱利用空調
- 省エネルギー技術の導入  
○人検知による照明・空調の自動制御 ○ダブルウオールの採用による断熱性向上

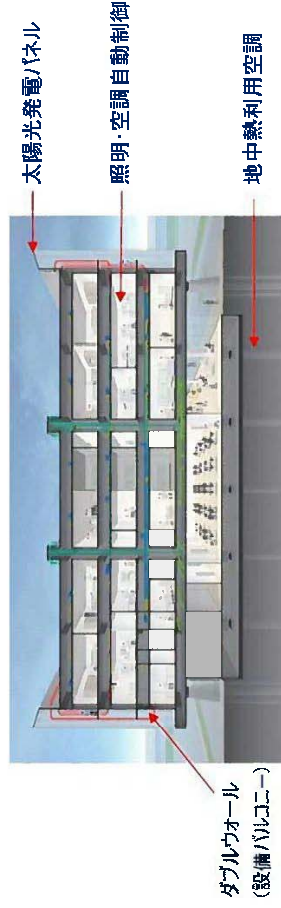


図3 環境配慮技術導入イメージ

## 5 施設及び諸室概要

図4 【1階 共用施設】

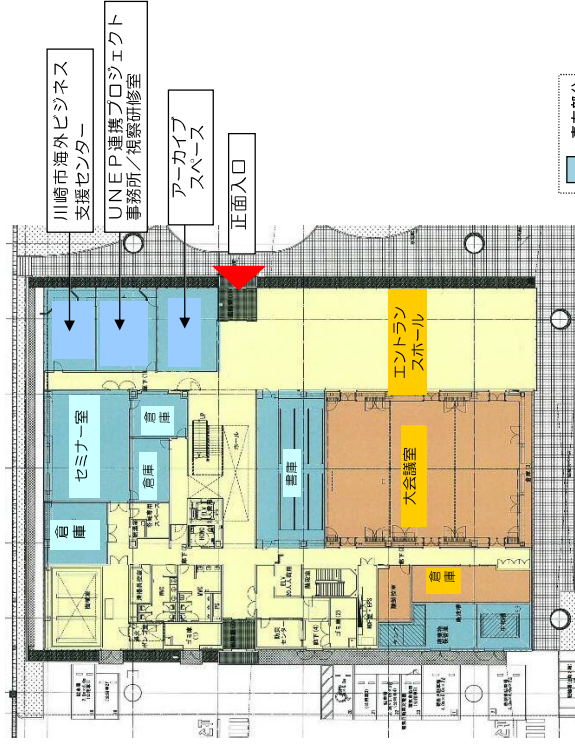
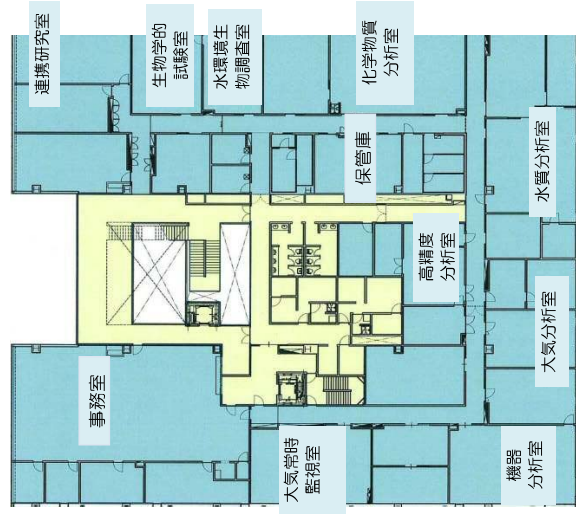


図5 【3階 環境総合研究所】



## 川崎生命科学・環境研究センター L i S E (ライズ)

- 1階 地上4階建て 延床面積 約11,400㎡  
共用施設 (情報発信、連携・交流の場)
- 2階 健康安全研究所 (衛生研究所の機能を高度化)
- 3階 環境総合研究所
- 4階 レンタルラボ (研究機関、企業等が入居する施設)



多摩川側

### <1階 主な諸室>

#### ○アーカイブスペース

川崎の公害克服の歴史や、優れた環境の取組など環境技術情報を展示するスペース

#### ○UNEP連携プロジェクト事務所/視察研修室

国連環境計画(UNEP)をはじめとする国際機関との連携した活動を行なうほか、海外からの視察・研修の受入れに対応

#### ○セミナー室

各種研修・講習会・実習室 (健康安全研究所と共同利用)

### <3階 主な諸室>

#### ○生物学的試験室

バイオアッセイ(生物学的試験)を用いて、化学物質による生物影響、生態系への包括的な環境影響、毒性評価などを実施

#### ○高精度分析室

大気・水環境中の難分解性有害化学物質等の分析及び化学物質調査のための分析法開発

#### ○大気常時監視室

一般大気環境測定局、自動車排出ガス測定局の大気データを常時監視

## 6 研究成果の活用

- ・本市の都市・地球環境施策への反映
- ・年報の刊行、研究所ホームページの運用、市民向け公開講座の実施などによる、成果の市民・社会向け還元
- ・フォーラム、国際ワークショップの開催等、多様な情報発信による新たな研究の創出

## フロアガイド

環境総合研究所は川崎生命科学・環境研究センターの3階にあります。

### 4F レンタルラボ

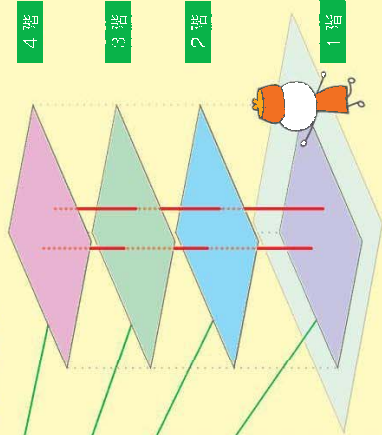
### 3F 環境総合研究所

### 2F 健康安全研究所

### 1F 共用施設

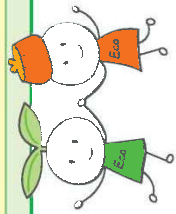
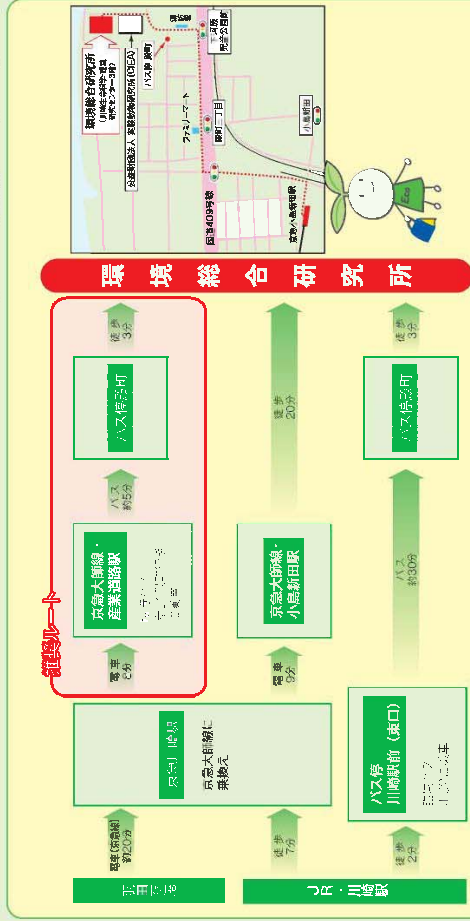
- ◆ 大会議室  
150名収容可能
- ◆ セミナー室  
各種研修・講習会・理化学実験等に使用します。
- ◆ アーカイブスペース  
川崎の公害克服の歴史や、優れた環境の取組みなど、環境技術情報を展示するスペースです。
- ◆ UNEP 連携プロジェクト事務局・視察研修室  
国連環境計画 (UNEP) をはじめとする国際機関との連携した活動や、海外からの視察・研修の受け入れを行います。
- ◆ 川崎市海外ビジネス支援センター (通称: KOBIS (コブス))  
イベントラウンジホール

### フロアマップ



## アクセス

※お越しの際は必ず構内を再利用ください。



## 川崎市環境総合研究所

〒210-0821 川崎市川崎区野町3丁目25番13号  
川崎生命科学・環境研究センター3階  
TEL 044-276-9001 FAX 044-288-3156  
E-mail 30sojig@city.kawasaki.jp

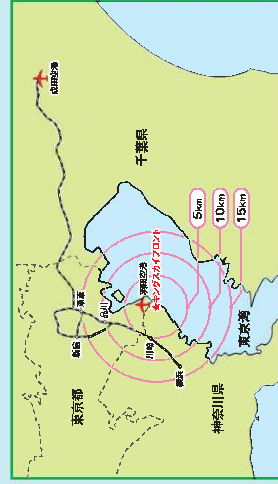
# 川崎市 環境総合研究所

## Kawasaki Environment Research Institute

～国際社会の環境問題の解決に貢献する新たな研究拠点～

多様化・複雑化する環境問題の解決に向けて、自然科学の枠を超えた広範な領域を統合した、新しい環境研究が求められています。

川崎市環境総合研究所は、地域の環境課題を解決する研究拠点としてだけでなく、広く外部の研究機関・企業等と連携した研究を行うとともに、川崎の優れた環境技術や環境問題に取り組みしてきた経験を広く発信し、環境分野における地域活性化と国際貢献の新たな拠点となることを目指します。



川崎生命科学・環境研究センター  
LISE (ライズ)  
(Life Science & Environment Research center)

川崎生命科学・環境研究センターは野町3丁目地区の研究開発拠点の形成を促進する中核施設であり、環境総合研究所の他、健康安全研究所、ライフサイエンス・環境分野の先端的な企業・研究機関などで構成する複合施設です。



## 環境総合研究所の5つの機能！

### (1) 川崎の優れた環境技術による国際貢献の推進

川崎の優れた環境技術や環境保全の経験を活かした国際貢献を推進するため、国連環境計画（UNEP）をはじめとする国際機関等と連携した事業を推進します。…… 事業推進課



### (2) 川崎の優れた環境技術情報の収集・発信

川崎の優れた環境技術情報等を収集し、広く国内外に発信します。…… 事業推進課



### (3) 「都市と産業の共生」を目指した研究

持続可能なまちづくりに向け、企業、大学、研究機関及び市民の参画と相互の連携を図りながら、川崎のフィードバックを活かした環境研究を推進します。…… 都市環境課 プロジェクト研究担当



### (4) さらなる環境改善と環境汚染の未然防止のための監視・調査・研究

大気や水質の環境の監視、観測、分析、調査・研究など、環境改善と環境汚染の未然防止の取組や、化学物質の環境リスクに関する調査・研究など、予防的措置に向けた取組、環境保全に関する常時監視・調査・研究を行います。…… 地域環境・公害監視課、環境リスク調査課



## <主な研究室の紹介>

### ■ 生物学的試験室

バイオアッセイ（生物学的試験）を用いて、化学物質による生物影響、生態系への包括的な環境影響、毒性評価などを実施します。

### ■ 高精度分析室

大気・水環境中の難分解性有害（化学）物質等の分析及び調査を行います。

### ■ 大気常時監視室

一般環境大気測定局、自動車排ガス測定局の大気データを常時監視します。



### (5) 多様な主体と連携した環境教育・学習

市内団体や企業などの多様な主体と連携しながら、環境問題を理解し、解決するためのプログラムを活用した環境教育・学習を実施します。…… 事業推進課



## 環境総合研究所とは？

環境総合研究所は公害研究所、公害監視センター、環境技術情報センターの機能を再編・統合し、殿町国際戦略拠点\*に立地する川崎生命科学・環境研究センター内に開設されました。国連環境計画（UNEP）、国立環境研究所、地球環境戦略研究機関（IGES）、大学などの外部研究機関、優れた環境技術を有する市内企業等と連携しながら、環境に関する総合的な研究を行います。



### ※ 殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）

殿町国際戦略拠点として整備を進めている殿町3丁目地区は、羽田空港の対岸に位置し、環境やライフサイエンス分野の高度な先端技術を有する大学・研究機関・企業等の集積や臨空関連産業等の集積を目指しているエリアです。



## 環境に配慮した先進技術の導入

環境総合研究所には、太陽光発電パネル、地中熱利用空調、太陽熱利用給湯、断熱性を向上させるダブルウォール、人感センサーによる照明・空調の自動制御、ビルエネルギー管理システム（BEMS）等の先進的な環境配慮技術が導入されています。



ダブルウォールによる断熱性向上



太陽光発電



地中熱利用空調



人検知による照明・空調の自動制御



太陽熱利用給湯

☆ 本施設は川崎市建築物環境配慮制度（CASBEE）Sランクの評価

川崎市建築物環境配慮制度（CASBEE J110）とは、環境への負荷の低減を図ることを目的として、環境配慮項目についての取組みを評価するものです。評価結果は5段階で表され、Sランクは最も高い評価となっています。

